

第47回「みんなのがん教室」開催報告

当院では、地域の皆さまにがんに関する一般的な知識を提供する場として、「みんなのがん教室」を年4回定期的に開催しています。

47回目の今回は、がんの画像検査と画像診断について専門医師がお話をしました。

第47回 みんなのがん教室

日時:9月19日(木)15:00~16:40

場所:諏訪赤十字病院 研修センター

参加者:47人

テーマ:「がん診療における画像検査と画像診断」

講師:諏訪赤十字病院 画像診断科

山下公仁彦 先生



放射線診断科の山下先生には、超音波検査、X線検査、CT検査、MRI検査、PET-CT検査それぞれの特徴についてお話をいただきました。

X線検査と肺がんについては、早期肺がんは写りにくいため、危険が大きい人はCT検査を。また今からでも遅くないのでタバコをやめて50才からは毎年、肺がん検診を受けましょうと、話がありました。

PET-CT検査については、転移を見つけるのにとっても有効な検査。ただし、非がん疾患でも陽性の場合もあるし、進行がん腫でも陰性の場合もあると、話がありました。

CT検査については、大変有効な検査だが放射線被ばくが多い。また日本はCT被ばくナンバーワンだが長寿を誇る国でもある。当院では技師団が被ばく低減に努めているので、必要な検査は安心して受けてくださいと、話がされました。

❖ 参加者の声を一部ご紹介します

- それぞれの画像検査の良い点、悪い点がわかった。
- 丁寧な解説と画像が見られてとてもわかりやすかった。
- がんは早期に見つけることが大事だとわかりました。
- 乳がん検診の大切さがわかった。エコー検査もしようと思う。

★次回の開催予定★

日時:12月19日(木)15:00~16:30

場所:諏訪赤十字病院 2階 研修センター

テーマ:「性別特有のがん(婦人科がん・前立腺がん)」

当院の産婦人科医師、泌尿器科医師がわかりやすくお話しします。

お問い合わせ:諏訪赤十字病院 がん診療推進室 ☎0266-57-6062